防災ノート（ワークシート④）高校生版

名前
（　　年　　組　　番）

学校防災みえ　防災みえjp

家族の避難先を知って、連絡を取る

家族がそれぞれ異なる場所にいるときに地震が起きた場合、誰がどこに避難するか決めておき、情報を共有していれば、家族が再会しやすくなります。

家族でどこに避難するか、話し合ってみましょう。

家族	時間帯	主な居場所と避難先	避難後
例） 父	平日昼間	勤務先（○○事務所）→ 勤務先のビル	交通機関が復旧するまで待機する。
	平日朝夕	電車の中 → 車掌の指示に従う	災害用伝言ダイヤル（171）で 避難先を伝える。

伝言の録音方法

1 7 1 にダイヤル

▼

ガイダンスに従う

▼

録音の場合 1

▼

電話番号
（×××）×××-××××

伝言の再生方法

1 7 1 にダイヤル

▼

ガイダンスに従う

▼

再生の場合 2

▼

電話番号
（×××）×××-××××

災害用伝言板サービス

災害発生時などは、携帯電話を利用して安否情報を登録でき、家族や友人の安否情報を携帯電話やパソコンからも確認できます。お持ちの携帯電話会社にサービス方法を確認してください。

○災害用伝言ダイヤルの使い方を家族全員で、覚えておきましょう。

また、張り紙で知らせるのも一つの方法です。

さらに、助けが必要な家族がいるならあなたが助けに行く心構えをしておきましょう。

◆家族の避難先について、家族で話し合い感想を書きましょう。